



◀ 香取街道沿いの町並み

写真でも解るかと思いますが、橋の下中央部から水が流れます。この音がジャージャーと言うので、地元では、ジャージャー橋と呼んでいます。以前は車も通ったので



▲ 樋橋

すが、今は歩行者専用には掛け替えられています。平成4年完成ということです。この橋は、最初は灌漑用水を送るために作られたのですが、後に人が通れるように、その上に板を敷いたそうです。その後、昭和になって車が通れるように鉄骨になったが、平成になって、現在のように掛け替えられたようです。



▲ 伊能忠敬旧宅

樋橋を渡って正面に伊能忠敬旧宅があります。伊能忠敬(1745～1818)は、名主として佐原の繁栄に尽くし、50歳で隠居後江戸に出て、天文学や測量学を学び、地震の後半生を日本地図の作成に費やし近代の日本地図の原点の役割を果たしました。この主屋は寛政5年(1793年)に忠敬自らの設計によって建てられたと言われています。旧宅の内部も見学できますので、皆さんも見学して、約200年の時の流れを感じ取ってみてください。又その対岸の奥には、伊能忠敬記念館があります。こちらは、見学期が多少かかりますが、当時の測量器具や測量図が展示してありますので、興味ある方は、のぞいてみてください。伊能忠敬とその弟子達が作った日本全図は見応えがあると思います



▲ 伊能忠敬記念館正面



▲ 記念館を駐車場から望む

与倉屋さんの米倉に行ってみた



さらに河岸を奥に入っていくと与倉屋さんの倉庫が見えてきます。この建物が建築されたのは、明治22年と言われていますが、この辺の一連の風景は、最近のドラマ(天皇の料理番:佐藤健主演)で放送されましたので、覚えている方もいらっしゃると思います。明治初期に酒醸造業を営み、その後醤油醸造業を戦前まで続け、昭和30年ころまで製粉業を営み、現在は倉庫業をしているようです。現在この建物は、イベントやコンサートにも使用されているようです。



◀ 与倉屋住宅

最後に佐原には、まだ紹介仕切れない伝統的建造物が、沢山あります。今回は、主に河岸の通り沿いを紹介しましたが、例えば小堀屋本店、福新呉服店、旧正文堂書店など興味深い歴史的建造物があります。次回にまた、ご紹介できれば、いいかと思います。

それでは、今回はここまでいたします。



▲ 小堀屋本店とその周辺

まち紹介『香取市佐原・小野川河岸(かし)を歩いてみる』:第3回に続く